

コーポレートメンバー

株式会社 田 中

技術部 近 藤 誠 二

弊社はジオシンセティック専門メーカーとして、不織布を用いた吸い出し防止材「ニードフルマット」を始め、様々な製品をご提供させて頂いております。設立当初より、現場を中心とした営業活動に勤め、より良い製品を求めお客様の声にお答えできるように努力してまいりました。

おかげさまで平成15年11月には創立50周年を迎え、多くの製品を開発・提供させて頂けるようになりました。本文では、ヤシ繊維材料、雑草抑制シート、最終処分場システムについて紹介致します。

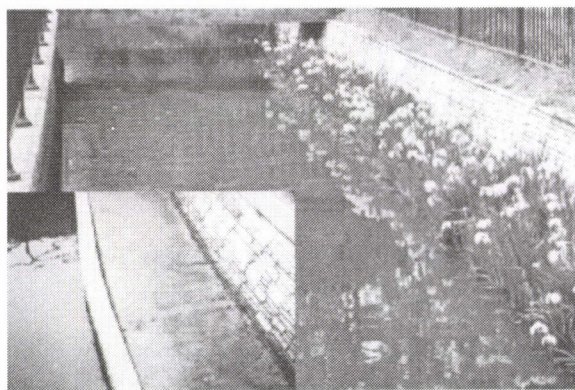
「多自然型工法：ヤシ繊維製品」

近年、自然環境や景観に配慮した工法が多く採用され、天然材料を用いた資材も多く提案されるようになりました。天然のヤシ繊維を用いた製品には、吸い出し防止として長年の実績のあるヤシ繊維マット（ニードフルマット）を中心に、ヤシ繊維を用いた織物（パームグリッド）や土のう（パーム土のう）など、環境に配慮した製品を取りそろえています。

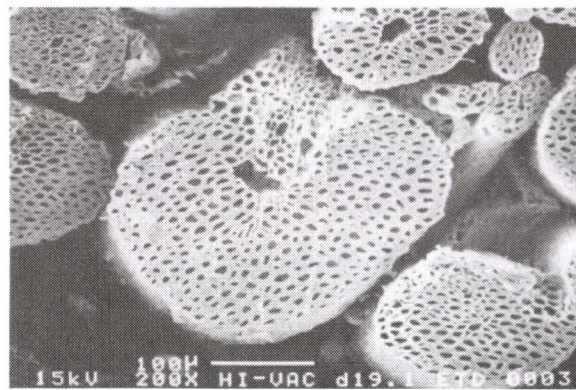


ヤシ繊維材料を用いた河川護岸

また、多孔質のヤシ繊維は植物の育成基盤として優れた性質を有しており、都市型河川や人工池など、植生基盤材として活躍しています。



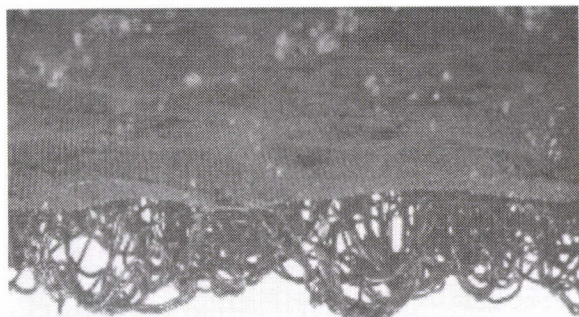
植生基盤材として使用されるヤシ繊維マット



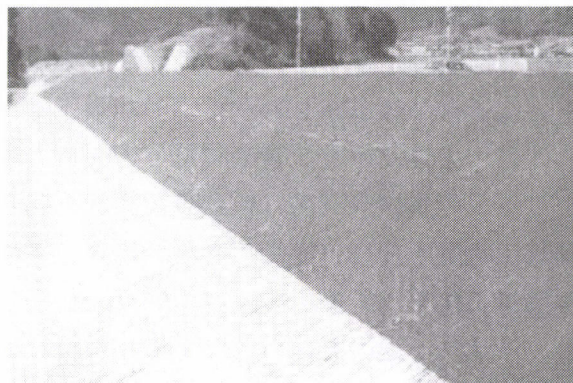
ヤシ繊維の顕微鏡写真

「雑草抑制マット：ウィーズレスマット」

植物は自然環境を豊かにし、そしてその根は地盤を安定させます。しかし、雑草と呼ばれる植物は、視界不良を起こしたり、病虫害の温床となったりすることから、除草や防草といった処置が行われます。ウィーズレスマットは、そのような雑草に対し、生育空間を限定することによって、雑草の欠点を補い、有効な植物として利用できるようにする製品です。



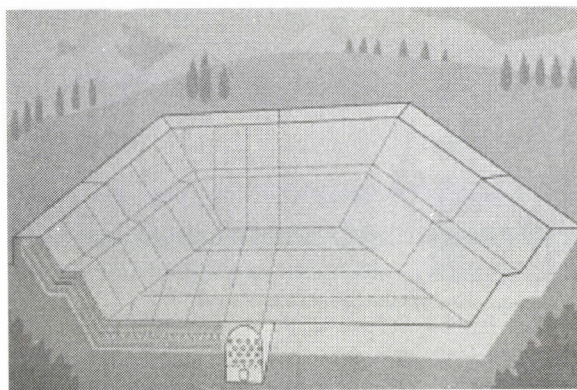
ウィーズレスマット製品断面



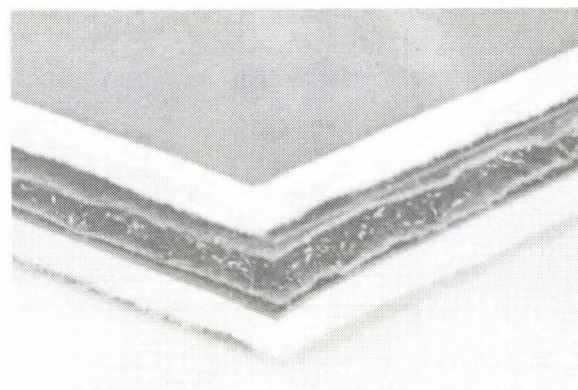
ウィーズレスマット施工例

「廃棄物最終処分場：M T S工法」

M T S工法は、漏水検知修復遮水システムとして開発された工法です。自然流下による浸出水の流入を知らせる警報装置を設置し、常時監視を行い漏水を検知します。ダブル構造とした遮水シートはブロックに分けられ、安全性を高めると共に破損箇所を特定し、修復材の注入によって漏水を止めることができるようになっています。M T S工法は、中間排水材および上下に保護マットを有した5層構造となります。



M T S工法概念図



M T S工法の5層構造システム

弊社はジオシンセティック専門メーカーとして、ジオシンセティックスの普及、発展に少しでもお役に立てるように努力して参りたいと思います。今後も I G S 日本支部の会員の皆様方からのより一層のご指導をお願い申し上げます。